



# 学校だより

小和田小学校

令和8年度6月号

## 【学校経営方針】

一人ひとりを大切に、社会力を育み、みんなの笑顔がある学校

## 【学校教育目標(めざす子ども像)】

「心も体も丈夫な子」「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」

## 【学校経営目標(めざす学校像)】

「学ぶ喜びを感じる学校」「保護者、地域から信頼される学校」

「教職員が成長し合える学校」「心落ち着くきれいな学校」

## 授業風景をみて思うこと

校長 山崎 悟史

一日の中で楽しみにしている時間があります。それは、校内をまわって各クラスの授業風景をみることです。日頃からできるだけ校内をまわりたいと思っています。限られた時間の中で、廊下から教室の様子を一目みて終わりになってしまう日もあるのですが、時間に余裕がある時には、学級の雰囲気を感じたいと思い、教室の中に入れてもらっています。授業を参観しているところが嬉しくなる場面にいくつも出会います。

何より嬉しいのが、子どもたちが授業に向き合っている姿を見ることです。もちろん、45分間は長いので、授業中ずっと集中し続けるのは大変です。しかし、授業者の先生が説明しているのをしっかり聴いたり、学習課題に真剣に取り組んでいたりと、子どもたちの素敵な姿がどの教室でも見られます。1年生の子どもたちは落ち着いて授業を受け、楽しそうに取り組んでいる場面も多く見られます。2年生から6年生までの子どもたちは、前年度までの積み重ねが大きく関わっていると思われ、学年が上がり授業への向き合い方においても、さらに成長がみられています。子どもたちが意欲的に授業へと向き合う姿をみると、思わず笑みがこぼれます。

また、子どもたちの頑張りとともに忘れてはならないのが、先生たちの努力だと思っています。学校運営・学年に関わる仕事をたくさん引き受けながら、日々、朝や放課後に授業の準備をする姿を見ると、「本当によく頑張ってくださいている・・・」という気持ちになります。先生たちが一時間一時間の授業を大切にしていることが、子どもたちの学びを支えています。

学校生活の中で一番多くの時間を占めているのが授業です。子どもにとって、授業がよりよい時間であることは、そのまま学校生活が充実していると言い換えることもできるかもしれません。だからこそ、子どもたちには「できた・わかった」喜びを授業でたくさん味わってほしいです。

授業は複数の教科があり、単元ごとに学習内容も異なりますので、子どもによっては好きな教科とそうでない教科、自信をもって取り組める課題とそうでない課題があるのは当然のことだと思います。また、自分でやりたいことを決めて過ごせる休み時間とは違い、「この時間は『算数のかけ算』をしましょう。」というように、先生がその時間に行う教科と学習内容を決めます。

このように、授業が始まる前は子どもの意欲に違いがみられることもありますし、教科・学習内容を提示するところまでは先生主導で行います。けれども、いざ授業が本格的にスタートすれば、中心となるのは子どもたちです。一人ひとりが学ぶ意欲をもって主体的に取り組めるよう、先生たちは「学習課題」「授業の流れ」「教材の提示」など、さまざまな観点で考え、準備し、工夫しています。

「最初はいやだな・・・と思ったけど、やってみると意外に楽しかった。」「最初は解けなかったけど、あきらめずに取り組んでみたら解くことができた。」「最初はわからなかったけど、友だちと話し合っただけで考えたらわかるようになって嬉しかった。」「友だちの考えを聴いて、『なるほど・・・』と思った。」など、学習内容の定着だけでなく、授業に向き合ったからこそ得られるものは非常に大きいと考えます。ですから、授業が始まる前に少し前向きな気持ちになれなかったとしても、まずは目の前の授業に向き合い、あきらめずに粘り強く取り組んでほしいです。それが積み重なっていくことで、おのずと「楽しさ」「喜び」「達成感」などが味わえるはずです。また、子どもたちには「わからない」「できない」など、授業に対して心配や不安な気持ちがあれば、すぐそばにいる先生や友だちが必ず力になってくれることを忘れずにいてほしいです。

子どもたち一人ひとりが主体的になって、友だちと対話しながら学び、「学ぶ楽しさ」を実感してくれることを願いながら、明日からも子どもたちと先生の授業を楽しく参観させてもらいます。

### 【5月30日(土) いよいよ運動会です】

土曜日に運動会が開催されます。この日に向けて、子どもたちは一生懸命練習を積み重ねてきました。ぜひ、お子様・子どもたちの頑張る姿に温かい声援を送っていただければ幸いです。併せて、小和田小学校は校庭が狭く、児童数も多い学校ですので、参観場所が限られるなどの課題はどうしても出てきます。それらの課題をクリアするためには、保護者のみなさまのお力添えが不可欠です。当日までに学校からのお便りをもう一度ご確認ください、ご理解・ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

### 【5月15日(金)「停電のため引き取り下校となりました ご理解・ご協力いただきありがとうございました】

5月15日(金)10時56分、小和田小学校を含む周辺地域が停電になりました。その直後から、校内でさまざまなことを検討し、対応に追われました。

停電になったことで、学校中の電気が点かない、電話がつながらず PC も使えないため通信手段がほぼなくなってしまふ、受水槽のポンプも止まってしまうため水が出ない、トイレの水も流れないなど、対応に苦慮しました。

そういった数々の課題を抱えながら、全教職員で緊急対応しました。普段の教育活動が全く行えなくなり、停電の復旧が見通せなかったため、学校に留めておくことが難しいと考え、給食を食べた後の13時15分をめぐりに引き取り下校の判断をいたしました。(栄養教諭の先生、給食調理員さんの尽力があつたのですが、給食を提供できたのは幸いでした。)

14時30分の時点で学校に残っている子どもたちをピロティ前集合させて、先生たちの見守りのもと、コースごとに分かれての下校となりました。

引き取りに来ていただいた保護者のみなさま、本当にありがとうございました。また、引き取りに来ることができなかった保護者のみなさまは、お子様と会うまでご心配だったことと思います。

すべての保護者のみなさまのご理解・ご協力に感謝申し上げます。今後も、緊急時には子どもたちの安全を第一に考え、判断してまいります。

最後になりますが、まちから協議会の方々にも大変ご心配いただき、全員が下校できるまで気にかけてくださいました。ありがとうございました。

(東京電力のホームページには、「弊社の設備のトラブル」と書かれておりました。)

以上、5月15日(金)「停電のため引き取り下校」の報告となります。